



阿難尊者

頭のよい者 わるい者

機鋒

T O U G E N N E W S
8 月 1 日

発行所 桃源院
発行責任 桃源院 広報部
〒191-0065 日野市旭が丘3-1-4
編集 遠藤隆幸 河野覚然
アドレス tougen@momo.or.jp

この阿難は正確には阿難陀（アーナンダ）と呼び、慶喜・歓喜・無来という意味になります。誕生は、時まさに、釈尊が菩提樹の下で悟りを開いた、奇しくもその晩であったといわれています。

阿難は王舎城で生まれました。王舎城というのはマガダ国の都にあたります。クシャトリヤと呼ばれる王族の出身で、父は甘露飯王です。この甘露飯王は釈迦の父である浄飯王の弟になりますから、阿難は釈尊の従弟になります。

成長するに従って聡明博識、釈尊の弟子に

阿難尊者（あなんそんじゃ）【生没不詳】

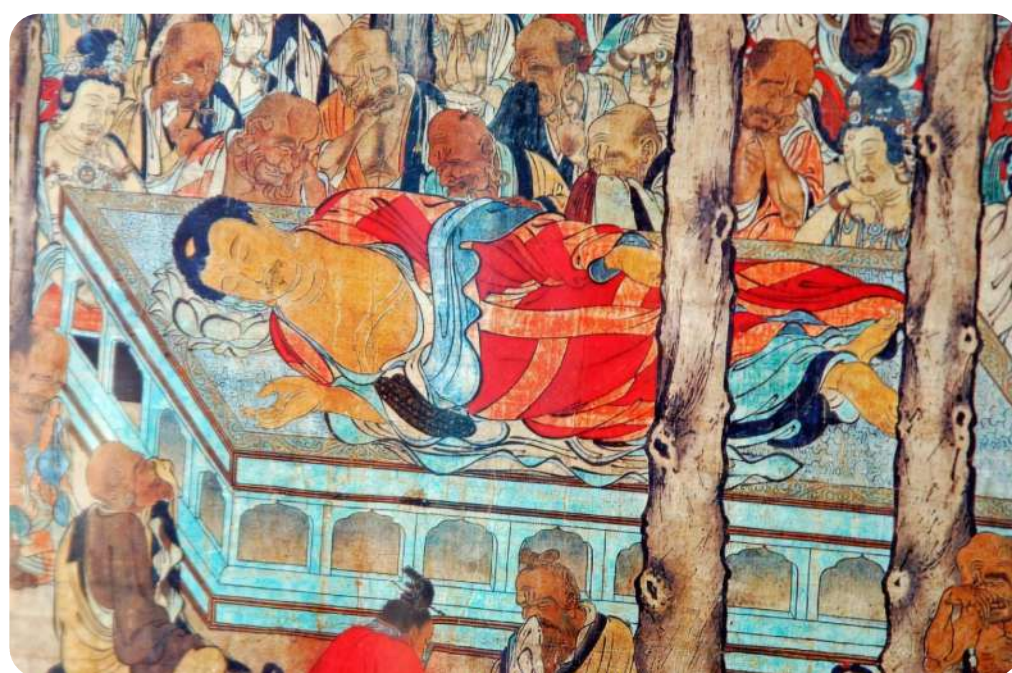
アーナンダ

インドにおける禅宗の第二祖といわれます。

釈迦族の王族、甘露飯の息子で、提婆達多の兄弟といわれています。釈尊が成道後初めて故郷に帰り、マンゴーの林に滞在していた際に、釈迦族の王子や理髪師 優波離（ウーパリ）らと共に出家したといわれます。常に釈尊のそばに仕え、その説教を聞く機会が多かったため、多聞第一といわれました。また前号でも触れたように、比丘尼僧団の創設に尽力し、摩訶迦葉の法を受け嗣しました。周知のように禅門では、仏法の正統は釈迦から迦葉に伝わり、迦葉から阿難に伝わったのです。

なつてからはその十大弟子の一人と呼ばれ、釈尊の侍者として修行すること二十年、釈尊の説法を全て理解し、記憶し、そして釈尊の作法行儀を悉く学んで深くこれに精通していました。現在のお経、その多くは、「如是我聞（かくの如く我聞けり）」という言葉で始まりますが、その「我」とはほとんどの場合、阿難尊者を指します。それほど多くの教えを釈尊から直接聞かれた阿難尊者です。

阿難尊者が亡くなりになり、遺された教えが散逸するのを恐れた迦葉が、長老達に呼びかけて、約三ヶ月後、王



舎城のアジャセ王に後援してもらい、五百人の長老が集まって、王舎城の近くの靈鷲山で仏典第一結集の会議が開かれます。

そしてまず十大弟子の一人、優波離が戒律を暗唱し、それを他の長老達が間違いないと承認します。

それから同じく十大弟子の一人、阿難尊者がお経を暗唱し、それを長老達が満場一致で、間違いないと承認します。こうして、人類の指針となる仏教の

教えが遺されたので、さてその第一結集の場面ですが、阿難は壇に多くの長老を前に、「如是我聞・・・」かくの如く我聞けり、と前置きして滔々と釈尊の教を述べます。すると迦葉が言います、「いまの阿難のお経に釈尊の所説と異なるところはあるか」と。すべての長老が答えます、「釈尊の所説とひとつもちがっていません」。このように



秋彼岸 行事

東京別院秋彼岸合同供養会

日時 令和五年九月十六日（土）九時の部 十一時の部 十三時の部
十七日（日）九時の部 十一時の部 十三時の部

場所 紫雲・白雲

◎ お申し込みは同封のご案内を御参照ください

本院秋彼岸山門大施食会

日時 令和五年九月二十三日（秋分の日）

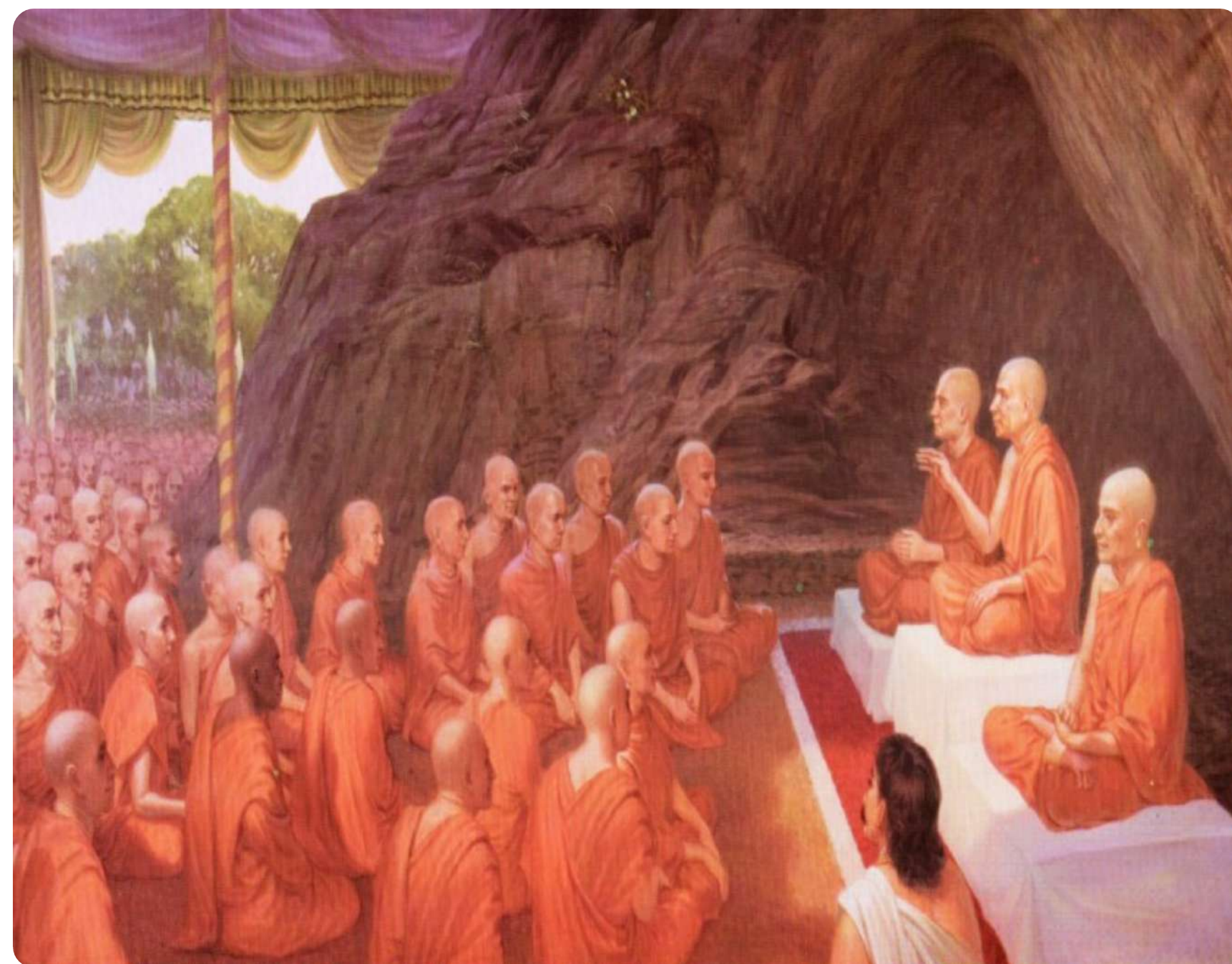
場所 桃源院本堂 午後二時より

◎ お申し込みは

- ◇ 供養袋に施主名 供養霊を記入してください
- ◇ 供養袋は供養料を入れて地区担当役員に渡してください

令和4年度 護持会役員総会

日時 令和5年4月28日 午後2時
場所 桃源院会館
桃源院 護持会役員33名参加



仏法の大海の水はすべて阿難の身に入っていました。こうして、仏典第一回の結集が成りました。阿難の記憶で仏教が後代に伝わることになったのです。阿難は偉大な功績を残しましたが、まだ阿羅漢果を得ただけで、なお究極の真理には到達していません。

団で、迦葉は「頭陀第一」の仏弟子と称せられていました。頭陀というのは「頭陀ぶくろ」の頭陀です、もともと「頭陀」「デュータ」は「行」という意味で、釈尊の十大弟子中で、「行」では迦葉は随一の弟子といわれています。「行」を重んずる禅が、特に迦葉を第一祖と仰ぐのも、ここから来ると思われるわけです。

迦葉は「頭陀第一」、阿難は「多聞第一」、優波離は「持律第一」。そしてそれぞれ呼ばれるようになったのは、彼らのそれぞれの優れた特徴からなのです。



事務の仕事らせて頂いています
親しみやすいお寺をめざして 皆さまとともに歩んでいけたらと思っています
精一杯頑張らせていただきますので
ご指導宜しく願いいたします



奥野麻子

新入

職員 挨拶

三浦美也子



お寺の各種の法要やご法事などのお手伝いをさせて頂いています
微力ながら皆さまの供養のお気持ちを大事にさせて頂けたらと思っています
何卒宜しくお願い申し上げます